

本様式の作成に当たっては、別紙2「平成26年度科学研究費助成事業（科学研究費補助金）（研究成果公開促進費）を申請するに当たっての留意事項等」の「参考3 支出費目別の注意事項」を参照してください。

<様式A-52-1別紙>

一般競争入札の実施又は準備状況（該当する項目を選択してください）

平成26年度の事業を行うにあたり、既に一般競争入札を実施済である。  
（入札実施年月日：平成 26年 2月 1日）

平成26年度の事業を行うにあたり、一般競争入札の実施に向けて**手続中**である。  
（実施予定年月日：平成 年 月 日）

当該事業において、公募要領で定める一般競争入札を必要とする契約の**該当はない**。

補助対象経費の内訳

交付申請時において、すでに競争入札を実施済である場合は、「見積書（A-53-1）」に代えて、落札者の落札価格をもとに作成した「内訳書」（「見積書（A-53-1）」を用い、様式名称を「内訳書」に変更する）を提出すること。

直接出版費	単 価 (円)	員 数	金 額 (円)	業者選定方法 (契約の相手方)
(すでに競争入札を行っている場合) 直接出版費 (〇号~〇号)			3,000,000	入札 〇〇出版(株)
(競争入札の実施に向けて手続中である場合) 直接出版費 (〇号~〇号)			1,500,000	入札準備中
(競争入札を必要としない金額での契約の場合) 直接出版費 (〇号)			2,000,000	〇〇印刷(株)
合 計			X,XXX,000	
欧文校閲費	単 価 (円)	員 数	金 額 (円)	業者選定方法 (契約の相手方)
(すでに競争入札を行っている場合) 欧文校閲業者への委託	2,000	700頁	1,400,000	入札 (株) 〇〇社
(競争入札の実施に向けての手続き中である場合) 欧文校閲業者への委託	2,000	700頁	1,400,000	入札準備中
(競争入札を必要としない金額での契約の場合) 欧文校閲謝金	1,000	500頁	500,000	〇〇氏 (〇〇大学)
合 計			X,XXX,000	
海外レフェリー郵送料	単 価 (円)	員 数	金 額 (円)	業者選定方法 (契約の相手方)
〇月分海外郵送料 (EMS : アメリカ合衆国)	2,400	1件	2,400	
〇月分海外郵送料 (中国)	1,450	3件	4,350	
〇月分海外郵送料 (韓国)	1,625	2件	3,250	
合 計			10,000	

様式A-52-1別紙（作成上の注意）

- ※ 「一般競争入札の実施又は準備状況」欄の記載について  
平成26年度の事業を行う際に必要とされる契約について、複数年の期間を定めた契約として、平成26年度以前の競争入札により既に契約の相手方を選定済である場合も、「実施済」の項目に■印を付してください。
- ※ 記載欄が小さく、記入しきれない場合は、適宜、記載欄を広げてください。なお、一枚に収まりきらない場合は、別葉としてください。（別葉を作成した場合は、ページ番号を付すとともに、右肩に課題番号を添書すること。）
- ※ 「事項」欄には、作業等の内容や品名等がわかるように1件ごとに記入してください。
- ※ 「業者選定方法（契約の相手方）」欄は、競争入札により既に選定済である場合は「入札」と記入し、契約の相手方の名称を記入して下さい（競争入札の実施に向けて手続中である場合は「入札準備中」と記入して下さい）。それ以外（公募要領で定める、一般競争入札が必要とされる金額に満たない金額による契約）の場合は、当該契約の相手方の名称を記入してください。

交付申請を行うにあたり、応募時に提出をした計画調書に記載された事業計画から、以下に示す変更等があった場合は、変更が生じた理由を簡潔にまとめた「理由書（様式任意）」を作成し、交付申請書「A-52-1, A52-1別紙」とともに提出すること。

- ① 年間総ページ数の計について欧文・和文ページ数の50%を超える増減
- ② 刊行スケジュールの変更（刊行回数増減）
- ③ 刊行経費の各費目（直接出版費、欧文校閲費、海外レフェリー郵送料）の内訳の50%を超える増減